

北大病院循環器内科で心エコー図検査を 受けられた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

北海道大学大学院 循環病態内科学では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られる診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

[研究課題名] 大動脈弁狭窄症患者における経胸壁心エコー法による左室充満圧推定精度に関する研究

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 辻永 真吾（北海道大学大学院 循環病態内科学教室 特任助教）

[研究の目的]

心臓病とは、心臓の構造や機能(働き)の異常により生じる病気の総称で、その中に、心不全、冠動脈疾患(虚血性心疾患ともいう)、心臓弁膜症、心筋症、不整脈、先天性心疾患などがあります。心臓病は、悪性新生物(がん)、脳血管疾患(脳卒中)と並ぶ日本人の三大死因のひとつで、世界の中でも類まれな高齢化社会を迎えている我が国において、その患者数が急激に増加しています。

大動脈弁狭窄症は心臓弁膜症のうちの 1 つで、本邦において増加の一途を辿っている疾患であり、75 歳以上の 8 人に 1 人がこの疾患を持っているとも言われています。特に失神や息切れなどの自覚症状が出現した重症大動脈弁狭窄症の予後は不良であり、平均すると予後は 2 年とも言われています。以前は開胸による外科的手術のみが重症大動脈弁狭窄症の根治術でしたが、2013 年に経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)が保険償還され、治療の裾野が広がっています。

自覚症状がある重症大動脈弁狭窄症が TAVI の適応の大部分を占めますが、基本的に高齢の方が多いために他の病気を持っていたり身体が弱っていたりすることで、運動時の息切れが大動脈弁狭窄症に由来するのか判断するのが難しいことも多いです。経胸壁心エコー図検査はごく一般的な検査で、身体への負担が少なく左室充満圧(心臓にどの程度負担がかかっているかどうか)をある程度推定することが出来ます。しかし、大動脈弁狭窄症の方では、どのような心エコー所見が心臓の負担の程度を反映しているのか分かっていない部分が多いです。

そこで私たちは、大動脈弁狭窄症の患者さんで、心臓カテーテル検査が行われた方を対象に心エコー検査の結果と心臓カテーテル検査で得られた所見を比べて、どのような心エコー所見が心臓カテーテル検査で得られた心臓の負担の程度と関連しているのかを調査したいと考えています。そして、その研究結果を今後の大動脈弁狭窄症患者さんの病気の状態評価や予後予測、さらには治療に役立てていきたいと考えています。

[研究の方法]

●対象となる方

2016年3月から2025年3月までに北海道大学病院循環器内科において、経胸壁心エコー図検査と右心カテーテル検査が施行された大動脈弁狭窄症の患者さん。

●利用するカルテ情報

1. 診療記録から、経胸壁心エコー図検査実施時（±28日のデータを利用）の年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、家族歴、身体所見、採血検査結果、右心カテーテル検査結果を調査させていただきます。心エコー図検査実施後5年間の臨床経過および心血管イベント（全死亡、心臓死、心不全増悪、不整脈（心房細動、心室頻拍、心室細動）、急性冠症候群、脳血管障害、開胸下あるいは経皮的な大動脈弁置換術といった大動脈弁狭窄症への治療介入）の有無をカルテから調査させていただきます。
2. 心エコー図検査で得られた所見と右心カテーテル検査で得られた所見との関連を調査させていただきます。また、心エコー検査所見と上記の心血管イベント発症との関連も調べさせていただきます。

[研究実施期間]

病院長による実施許可日～2030年3月31日（登録締切日：2025年3月31日）

[個人情報の取り扱い]

この研究に関して、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

本研究の実施にあたり、研究に利用する患者さんの情報に関しては、研究担当者が北海道大学病院内で診療記録や心エコー検査記録を収集した後、お名前、ご住所など、患者さんを特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先]

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院 循環病態内科学教室 特任助教 辻永 真吾（研究責任者）

電話：011-706-6973, FAX：011-706-7874